

だんだんどーも

2021.6.25 No.41

柿崎区総合事務所だより

〒949-3292 上越市柿崎区柿崎 6405 番地 ☎ 025-536-2211 FAX 025-536-2227
ホームページ <https://www.city.joetsu.niigata.jp/> E-mail kakizaki-ku@city.joetsu.lg.jp
(ホームページではカラーでご覧いただけます。)

マイナンバーカードの新規作成と受取りなどのご案内

国では、皆さんの暮らしを便利にする「マイナンバーカード」の普及を推進しています。

【カードの機能】

| すでにできること | 今後予定（検討）されていること |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none">・身分証明証として利用できます。・コンビニで「住民票の写し」「印鑑登録証明書」「所得課税証明書」などを取得できます。・インターネットで確定申告ができるほか、民間企業のオンライン契約が拡大しています。 | <ul style="list-style-type: none">・健康保険証として利用でき、高額療養費の限度額認定証が不要となります。また自身の薬剤情報や医療費情報が確認できます。・運転免許証の機能付与も検討されています。 |

【カードの作成方法】

- ① スマートフォンで申し込む
「マイナンバー通知カード」または「作成のご案内のお手紙」にあるQRコードで、特設サイトに接続します。
- ② 区総合事務所で申し込む
下記をご覧ください。なお事前に写真をご用意いただく必要はありません。

《区総合事務所で「カードの新規作成・受け取り」「電子署名の更新」を申し込む場合》

- ・カードの各種手続きは1件あたり約20～30分要します。混雑防止・待ち時間短縮のため、事前予約をお勧めしています。なお「予約の無いお客様」は、数十分から1時間程度、お待ちいただく場合があります。
- ・カードを作成される方が急増しており、当日予約は非常に困難です。希望日の3日程度前の予約をお勧めします。
- ・休日窓口も開設していますので、ご都合に合わせご利用ください。

| 各種手続きの予約可能日時 | | 予約の申し込み |
|--|------------------------------|--|
| 期 日 | 時 間 帯 | |
| 【平日】 通常の営業日 | 午前9時～午後4時30分 (正午～午後1時は除く) | 平日の午前8時30分～午後5時 |
| 【休日】 7月10日(土) 7月25日(日) 8月14日(土) 8月29日(日) | 同 上 | いずれも平日午前8時30分～午後5時 7月10日分…締切：7月2日(金) 7月25日分…締切：7月16日(金) 8月14日分…締切：8月6日(金) 8月29日分…締切：8月20日(金) |

※ご予約の場合でも、窓口の混雑状況によって開始時間が遅れる場合があります。

【問合せ】 市民生活・福祉グループ 市民生活班 ☎ 536-6703

資源物常時回収ステーションの利用方法について ご協力願います

生活様式の変化で「段ボール」が、また暑さに合わせ「空き缶・ペットボトル」の搬入が急増しており、また一部で不適切な搬入が発生しています。

リサイクルの推進と衛生対策のため、利用方法を守ってご利用ください。

《段ボール》

- ・箱をつぶし、ひもで縛って出してください。
- ・縛るひもは、できるだけ紙ひもを使ってください。

《缶・ペットボトル》

- ・中身を出し、すすいでから出してください。
- ・アルミ缶とペットボトルはなるべくつぶして出してください。

【事業所の皆さんへ】

- ・資源物常時回収ステーションは家庭系廃棄物の搬入施設であり、事業系廃棄物は搬入できません。
- ・事業（規模の大小を問わない）に伴って発生した廃棄物は「事業系廃棄物」に区分され、許可業者に処分を委託するなどのほか、家庭系廃棄物としての排出は禁止する旨が法で定められています。〔廃棄物の処理及び清掃に関する法律・第3条〕

マスク着用での熱中症に気をつけて！

熱中症は、梅雨どきと真夏に多発します。夏本番に向けて、熱中症に十分気をつけましょう。

■熱中症を防ぐポイント

- 高温や多湿といった環境下でのマスク着用は熱中症のリスクが高くなるおそれがあるので、屋外で人と十分な距離（少なくとも2m以上）が確保できる場合には、マスクを外すようにしましょう。
 - マスクを着用する場合には、強い負荷の作業や運動は避け、のどが渇いていなくてもこまめに水分補給を心がけましょう。
 - 外出時は暑い日や時間帯を避け、涼しい服装を心がけましょう。帽子、日傘などで直接日光に当たらないように工夫しましょう。
 - 室内では、冷房・扇風機等を適切に使用し、温度管理に努めましょう。
- ※水分補給は、水500mlに塩ひとつまみ（1g）の食塩水がおすすめです。なお、アルコール飲料は体内の水分を排出する働きを促進するため、水分補給にはなりません。

避難情報の名称が変わりましたのでご確認ください

5月20日付で、災害対策基本法の一部を改正する法律が施行され、「避難勧告」と「避難指示（緊急）」が「避難指示」に一本化されました。

今後は、大雨等で災害発生のおそれが高い状態で「避難指示」が発令された場合は、危険な場所から必ず避難してください。

避難に時間のかかる高齢者や障害のある人は、「高齢者等避難」で避難行動を開始してください。詳しくは市のホームページをご覧ください。

【問合せ】総務・地域振興グループ ☎536-6701

降雨災害に注意

雨が多く降る時期になると、がけ崩れや地すべりなど土砂災害が発生する可能性が高まります。土砂災害は一瞬のうちに尊い命や財産を奪います。

日ごろから避難所を確認し、大雨の際は土砂災害に対する避難の目安となる「土砂災害警戒情報」に注意しましょう。また、山や崖などで異常を見つけたときは、連絡してください。

県の「土木防災情報システム」では、土砂災害情報をお知らせしています。

土木防災情報システム



2次元バーコード
(スマートフォン版)

水の事故に注意してください

本格的な海水浴シーズンが到来します。海や川に出かけるときは十分注意しましょう。

水の事故を未然に防ぐため、柿崎区総合事務所では注意喚起のポスターの掲示やチラシの配布を行いました。

また、海岸周辺の町内会では、海岸のパトロールやチラシの配布など、事故防止に自主的に取り組んでいただいています。

海を安全に楽しめるよう、これからもみんなで水の事故防止に取り組んでいきましょう。

道路にはみ出した樹木は剪定・伐採してください

家庭で植えられた樹木が大きくなり、道路や歩道に枝葉がはみ出している場所があります。放置しておくとも見通しが悪くなり、通行の支障になるだけでなく、交通事故の危険性も高まります。また、冬季には雪の重みで枝が折れたり、場合によっては樹木が倒れる恐れもあり、もし樹木の枝や倒木が原因で損害が発生した場合は、所有者が賠償責任を問われることがあります。定期的に剪定や伐採を行うなど、適切な樹木の管理をお願いします。

【問合せ】建設グループ 管理班 ☎536-6719



みんなで下水道を利用しましょう

柿崎区で下水道が使えるようになってから、早い地域では20年が経とうとしています。しかし、まだ一部では下水道への接続が進んでいない状況があります。

《下水道で住みよいまちへ・・・》

- 蚊やハエがいなくなる
- 悪臭がなくなる
- 川や海がきれいになる
- 側溝清掃の回数が減る



これらの効果は、皆さんから接続いただかないと発揮されません。接続されていない場合は、ご検討をお願いします。

工事費用については、生活保護世帯及び低所得世帯の方に対し、排水設備の設置に掛かる費用を助成する制度のほか、無利子の融資制度があります。補助を受ける場合は、工事を行う前に申請が必要ですので、柿崎区総合事務所の建設グループへご相談ください。

【問合せ】…建設グループ 管理班 ☎536-6719

米山山頂へみんなですを運びましよう

登山者の皆さんに土を運んでいただき、山頂の保全を行う「米山土あげ運動」が3シーズン目を迎えました。おかげさまで一昨年は約5,000人・約4トン、昨年は約4,800人・約3.8トンのご協力をいただきました。

今年も下牧登山口と水野林道登山口の2か所に土置き場を設置しています。登山の際には、持てる量の土を袋に詰めて、山頂の土置き場まで運んでください。ご協力をお願いします。



【問合せ】米山山頂避難小屋連絡協議会（産業グループ） ☎536-6707

柿崎区敬老会の中止について

柿崎区敬老会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とします。

なお、対象者(昭和22年4月1日以前に生まれた人)には、例年どおり、祝い品を贈呈します。

【問合せ】市民生活・福祉グループ 福祉班 ☎536-6704
柿崎まちづくり振興会 ☎536-2140

令和3年6月1日現在
柿崎区の人口・世帯数
計9,007人 3,406世帯



男4,378人 女4,629人

がんばる中山間地域を紹介します

■里山の魅力を体で感じる子供たち

6月7日(月)、尾神岳がそびえる東横山集落の棚田で、柿崎小学校、上下浜小学校、下黒川小学校の6年生71名が、手植えによる田植えを体験しました。昨年採用された上越市職員3名も参加し、小学生と一緒に泥んこになりながら、初めての田植えを経験しました。

これは、大出口泉水が潤す里山の魅力を広く知ってもらおうと、「柿崎を食べる会」と、地元の酒造会社「頸城酒造」が立ち上げた「柿崎名水農醸プロジェクト」の一環として実施されたものです。

青空の中、子供たちははだしで田んぼに入り、「足が抜けない!」、「倒れそう〜」、「ぬるっとしてる!」などと、泥の感触を楽しみながら元気よく植えていました。中には、10本以上も苗を植えた子供や、終わらない友達のところへ手伝いに行く子供もいました。里山での楽しい時間をみんなで共有することができました。



はじめまして。集落づくり推進員の市川と申します。集落や各団体で「何かやってみたい」等のご要望や、困りごとがありましたらいつでもご相談ください。☎536-2211
(集落づくり推進員 市川)

